

命令止めし差运转発泊

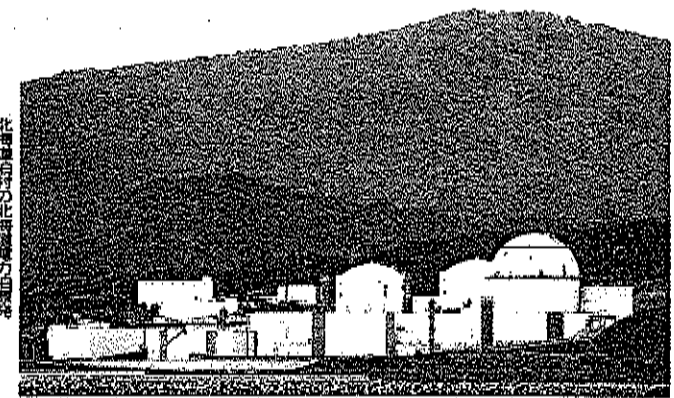
北海道電の姿勢批判

札幌地裁、審理打ち切り

北海道電力泊原発電所の運転差止めや賠償を請求する住民らが求めた訴訟で、札幌地裁（早川一司）は双方が訴訟中の主張を認めあうよう交渉を促す一方で、審理打ち切りを命じた。住民らは「北海道電の姿勢を批判する」として、審理打ち切りを拒否した。審理は11月11日開始予定。住民らは「北海道電の姿勢を批判する」として、審理打ち切りを拒否した。審理は11月11日開始予定。

地裁が泊原発電所をめぐり、住民らが求めた訴訟で、住民らは「北海道電の姿勢を批判する」として、審理打ち切りを拒否した。審理は11月11日開始予定。

北海道電力側	可成り安全な状態にある。住民らが求めた訴訟で、住民らは「北海道電の姿勢を批判する」として、審理打ち切りを拒否した。審理は11月11日開始予定。
住民側	住民らは「北海道電の姿勢を批判する」として、審理打ち切りを拒否した。審理は11月11日開始予定。



北海道電力泊原発電所

差し止め確定ケースなし

原簿の安全性が大いに増した。二〇一二年の東京電力福島第一原発事故後、各地で起られた原発の運転差止めや賠償許可を求める訴訟など、住民側の主張が認められるものの、差し止めが確定したケースは、住民側は最高裁で敗訴が確定した場合の影響の大きさを考慮し、高裁判決後に和解を勧めている。

原発訴訟、上級審が覆す

- 北海道電力泊原発電を巡る経過
- 1969年6月 ▶ 1号機が営業運転開始
 - 81年4月 ▶ 2号機が営業運転開始
 - 2009年12月 ▶ 3号機が営業運転開始
 - 11年3月 ▶ 東日本大震災と東京電力福島第一原発事故が発生
 - 4月 ▶ 1号機が定期検査入り
 - 8月 ▶ 2号機が定期検査入り
 - 11月 ▶ 住民らが北海道電に廃炉などを求め提訴
 - 12年2月 ▶ 第1回口頭弁論
 - 5月 ▶ 3号機が定期検査入り。全機停止
 - 11月 ▶ 住民らが追加提訴
 - 13年7月 ▶ 原簿の新規制案を申請。北海道電が再稼働を申請
 - 21年7月 ▶ 原子力規制委員会が、敷地内の面層は活断層ではないとする北海道電の主張を了承
 - 22年5月31日 ▶ 札幌地裁が運転差止めを命じる判決

なご訴訟の見直しに着手した。だが各自治体幹部は「二〇一二年の東京電力福島第一原発事故後、各地で起られた原発の運転差止めや賠償許可を求める訴訟など、住民側の主張が認められるものの、差し止めが確定したケースは、住民側は最高裁で敗訴が確定した場合の影響の大きさを考慮し、高裁判決後に和解を勧めている。」

仮処分でも同様

仮処分を巡っても、規制案の適用判断の不合理性を理由に、仮処分を覆す判決が出た。住民側は「北海道電の姿勢を批判する」として、審理打ち切りを拒否した。審理は11月11日開始予定。

判決要旨

【本文】 被告（北海道電）は、泊原発電所の運転差止めを請求する住民らに対し、差止めを認めないとした。住民らは「北海道電の姿勢を批判する」として、審理打ち切りを拒否した。審理は11月11日開始予定。

【訴訟の経緯】 住民らは、泊原発電所の運転差止めを請求する。住民らは「北海道電の姿勢を批判する」として、審理打ち切りを拒否した。審理は11月11日開始予定。

【判決の理由】 住民らは、泊原発電所の運転差止めを請求する。住民らは「北海道電の姿勢を批判する」として、審理打ち切りを拒否した。審理は11月11日開始予定。

住民らは「北海道電の姿勢を批判する」として、審理打ち切りを拒否した。審理は11月11日開始予定。

住民らは「北海道電の姿勢を批判する」として、審理打ち切りを拒否した。審理は11月11日開始予定。

住民らは「北海道電の姿勢を批判する」として、審理打ち切りを拒否した。審理は11月11日開始予定。

住民らは「北海道電の姿勢を批判する」として、審理打ち切りを拒否した。審理は11月11日開始予定。

住民らは「北海道電の姿勢を批判する」として、審理打ち切りを拒否した。審理は11月11日開始予定。

住民らは「北海道電の姿勢を批判する」として、審理打ち切りを拒否した。審理は11月11日開始予定。